

地域協議会だより

Vol. 20 (2016 年 10 月 3 日発行)

長野県農業農村多面的機能発揮促進協議会
長野市大字南長野字宮東 452-1
長野県土地改良会館別館 3 階
会 長 赤羽 昭彦



秋雨の候

雨の合間の澄んだ空が心地よい季節になりました。皆様におかれましては健やかに
お過ごしのことと存じます。

さて、今回の協議会だよりでは、継続組織を対象にした事務研修会の報告と安曇野
市、豊丘村の活動組織の取組をご紹介します。



事務研修会

平成 25 年度以前から継続して多面的機能支払事業を行っている活動組織と市町村の皆様を支援
するため、以下のとおり事務研修会を開催しました。

月・日	会場	午前	活動組織		市町村		地方事務所	計
		午後	組織数	人数①	市町村数	人数②	人数③	① +②+③
8/25(木)	伊那市創造館	10:00～12:00	27	52	7	11	2	65
"	"	14:00～16:00	20	31	3	3	3	37
8/26(金)	消費生活センター	9:30～11:30	20	33	4	4	2	39
8/30(火)	長野県土地改良会館	9:30～11:30	9	14	1	1	1	16
"	"	14:00～16:00	14	22	1	1	1	24
8/31(水)	北信合同庁舎	9:30～11:30	6	14	0	0	1	15
"	"	14:00～16:00	13	21	3	3	1	25
9/7(水)	茅野市役所	9:30～11:30	14	20	2	2	1	23
"	"	14:00～16:00	13	23	0	0	1	24
9/8(木)	松本合同庁舎	9:30～11:30	24	48	3	5	1	54
"	"	14:00～16:00	29	49	4	8	1	58
9/9(金)	大町合同庁舎	9:30～11:30	15	29	4	6	2	37
"	"	14:00～16:00	8	20	0	0	2	22
計	7会場		212	376	31	43	19	438





8/30 長野



8/31 北信



9/7 諏訪



9/8 松本



9/9 北安曇



10 月 12 日に木曽、11 月 7 日に上小・佐久で事務研修会を行う予定です。詳しい日程は協議会ホームページでお知らせします。

Y 安曇野市「多面的機能支払管理集落連携部会」

安曇野市では、農地・水保全管理支払交付金が始まった平成 24 年度に、活動組織の連携と、各地域の集落コミュニティの活性化及び資源の保全管理の推進を図ることを目的に、安曇野市農地・水保全管理集落連携協議会を設置しました。

平成 26 年度の制度変更により、安曇野市多面的機能支払管理集落連携部会に名称を変更し、平成 28 年度は 51 組織で構成されています。

この部会では、各活動組織の代表者による代表者会議のほか、事務担当者を対象に活動の進め方や書類作成についての説明を行う事務研修会、水路の目地詰めを現地で実際に体験できる技術研修会等を開催し、活動に役立てています。



事務研修会



書類作成研修会

地域協議会だより



目地補修の技術研修会



目地補修の技術研修会 作業の様子

組織数が多くなり、研修会でも一度に多数の参加者に説明しなければならないなど、事務局（市耕地林務課）と各組織の連携が図りにくくなっていることから、今後は連携部会の下に合併前の5町村でそれぞれ地域部会を立ち上げ、研修会等も地域部会ごとに開催していくことについて検討を始めました。

活動記録等の書類作成や日当の支払いといった事務処理に苦労している活動組織が多く、事務労力の軽減を図る方策を検討する必要があるという課題があります。地域部会の運営を通じ、広域化や事務委託へと移行できれば各組織の負担軽減につながることから、今年度は臨時の代表者会議を開催し、地域部会の立ち上げについて協議を進める予定です。

Y 豊丘村「豊丘村農地・農村保全対策広域協定運営委員会」

豊丘村は長野県南部、飯田市の北東に位置し天竜川が形成した日本一とうたわれる河岸段丘の中央に位置し、農業基盤整備事業により整備された農地では、水稻をはじめ、市田柿、りんご、梨などの果樹が中心に栽培される農業地帯です。

当村では、平成19年度から農地・水・環境保全向上対策事業により4活動組織がスタートしましたが、多面的機能支払事業の内容が村の抱える農地保全の課題対策にそのまま当てはまることから、平成26年度から9つの区を中心に村全体の広域組織として再出発し、農地の維持と景観保全に取り組んでいます。

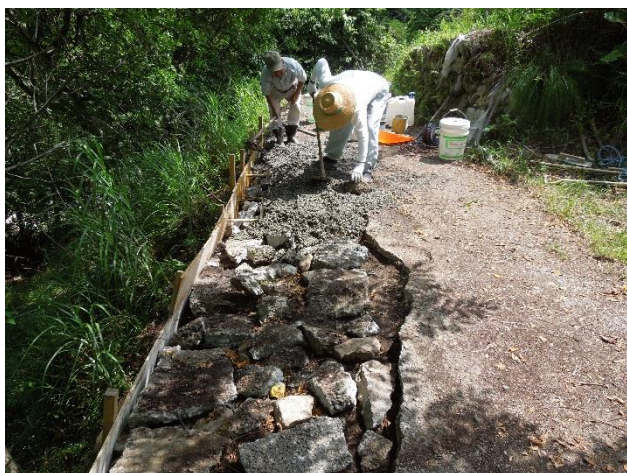
豊丘村農地・農村保全対策広域協定運営委員会

- ・取組面積 : 550.82ha(田:188.7ha、畑:362.1ha)
- ・資源量 : 開水路 29.6km、
パイプライン 116.7km、
農道 207.3km、ため池8箇所
- ・主な構成員 : 農業者、自治会
- ・交付金 : 約 1,290 万円(H28 予定)

農地維持
共同
長寿命化

広域組織として、交付金の一部を活用し村役場に事務局を設置し、事務軽減を図っています。

広域組織のメリットとして、書類が一つで済み、村からの指導が統一化され、各区の状況を比較することができるとともに、各区内の問題を村全体の課題として対応できるようになりました。



農道の補修



植栽作業の様子



水路の清掃



棚田の保全(草刈り)

今後は、各区への合意形成を行いながら交付金の効率的な配分を進め、当事業を活用し農山村の景観を後世に残すため、積極的に事業に取り組むこととしています。

事務局から

今回は継続組織を対象にした研修会の様子と活動組織の紹介を行いました。

今後も研修会の報告と皆様の活動の役に立つ情報を掲載しますのでよろしくお願いいたします。

■問い合わせ先

長野県農業農村多面的機能発揮促進協議会

(担当: 酒井・大井)

TEL 026-219-6351 FAX 026-219-6352

Eメール nagano-tamenteki@wonder.ocn.ne.jp

URL <http://www.nagano-nouchimizu.net/>

